

専攻主科目名

国際感染症・危機管理学

◆問合わせ連絡先 担当：医学部微生物学講座 教授 吉野 友祐
[兼任：帝京大学アジア国際感染症制御研究所(ADC)所長]

E-mail yusuke.yoshino.kx@teikyo-u.ac.jp

TEL 03-3964-8420 (内線 41917・モバイル:16534)

HP (研究室・診療科) <http://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/adclabo/>

◆研究室・講座の紹介

帝京大学アジア国際感染症制御研究所は、世界的視野に立った感染症制御に関わる研究・教育を推進しています。

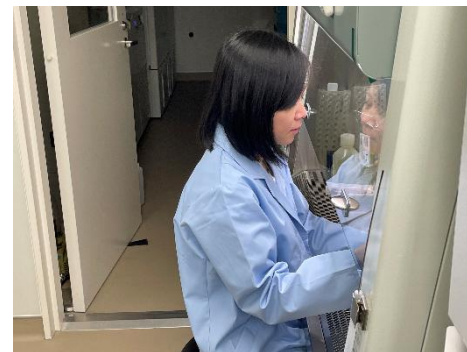
本研究所は、アジア諸国との国際交流を通して、感染症研究の病因解明と医療安全管理学を中心に活動しています。研究室は二号館の地下一階にあり、帝京大学の感染症研究室を用いて研究活動を行っています。

◆研究内容の紹介

1) 感染症の制御に関する研究

臨床研究：感染症の病因検索、特にインフルエンザウイルスを中心とした疾病の原因ウイルス解明を、帝京大学医学部附属病院と連携して行っています。未知の原因病原体の同定も可能ですが、既知のウイルスについても実際の臨床に役立つように、時間を置かずに原因ウイルスの解明やウイルスの型の同定などを遺伝子解析の手法を用いて行います。

基礎研究：培養細胞を用いた感染実験、またマウスを用いた感染実験を行って、インフルエンザウイルスによる重症肺炎に有効な治療薬の研究・開発やバイオマーカの探索、サイトカインストーム産生機序の解明などを行います。



ベトナムからの
大学院生（2年生）

◆研究内容の紹介

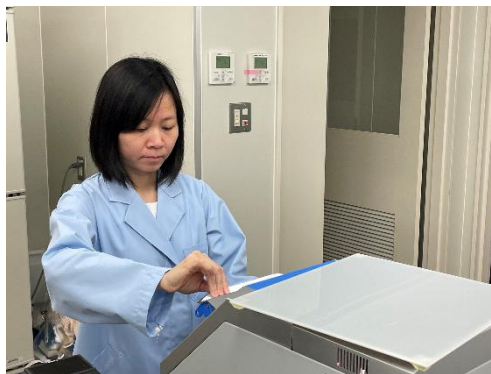
2) 危機管理学

病院と近接する立地を生かして、帝京大学医学部附属病院安全管理部などと共同で、医療事故の原因探索や事故原因究明のためのデータベースの作成など、医療安全の確保に積極的に関わっています。

このデータベースは将来的には医療事故のコントロールや医療者の安全教育にも反映できるように設計されており、現在進行中のプロジェクトです。

3) 炎症制御学の研究

バイオマーカの検索と、炎症に関わる新たなサイトカインの同定。他大学との共同研究では、炎症に関わる新たなバイオマーカの探索を行っています。



ベトナムからの
大学院生（2年生）

◆大学院で学ぶこと

1) 医学研究の方法

医学研究の方法論、研究内容の決定方法、研究方法の実際などについてまず学びます。研究に必要な実験手技や実験室内での挙動規範などについては、第一年次に必ず習得していただきます。感染症／免疫／抗菌薬等に関する知識の習得も行います。自分のなすべき研究が決定したら、指導教官の指導に従って研究に必要な実験とそのデータ解析を行います。研究内容を含めて、研究の進捗やその解析については研究所内では研究所員は共有し、週一回以上討論の機会を設けて研究をより良いものにしていきます。

2) 感染症／免疫／抗菌薬等に関する知識の習得

大学院の特別講義から自分にとって必要な講義の受講を行う。教科書は指導教官が選定するので、必要な知識を習得する。研究室内での週一回以上討論で知識のブラッシュアップとさらなる学習の過程を得る。

3) 英文学位論文作成

最新英語論文読解攻略法の伝授と論文要約テクニックの方法取得。
医学英語（会話）の取得と実践、国内外での学会発表など。